

※受験番号

※欄は記入しないでください。

2023年度 大阪大学大学院法学研究科博士後期課程入学願書

大阪大学総長 殿

貴大学大学院法学研究科博士後期課程に入学したいので、必要書類等を添付して出願します。

年 月 日

出 願 者	ふりがな			性別	☐ 男・ ☐ 女	
	氏名			本籍		
	生年月日	(西暦)		(都道府県)	(外国籍の方は国籍)	
	現住所	(〒)				
	電話番号					
	E-mail					
	出願資格【全選抜共通】 ※該当するものに○をすること。		(1)・(2)・(3)・(4)・(5)・(6)・(7)・(8)			
	選抜区分 ※1 該当する選抜に一つ☑をすること。 ※2 特別選抜を希望する者は各選抜の(a)(b)(c)の該当するものに○をすること。		☐ (イ) 一般選抜			
			☐ (ロ) 社会人特別選抜 (a)・(b)・(c)			
			☐ (ハ) 留学生特別選抜 (a)・(b)・(c) ※全て満たすこと。			
			☐ (ニ) 高度専門職特別選抜 (a)・(b) ※全て満たすこと。			
	大学区分	☐ 国立・ ☐ 公立・ ☐ 私立・ ☐ 海外・ ☐ その他				
	大学院・研究科・専攻					
	修了(見込)年月				(☐ 修了・ ☐ 修了見込)	
	職歴	☐ あり・ ☐ なし				
	選抜方法 一般選抜学力検査 注1: (イ)(1)論文試験又は(イ)(2)学科試験のどちらかを 選択し□に☑を入れ、該当の欄に記入すること。 また、(イ)(2)学科試験受験者はA、Bのどちらか 一方を選択し□に☑を入れ、該当の欄に記入 すること。なお、社会人、留学生、高度専門職特別 選抜学力検査では筆記試験はありません。 注2: ダブル・ディグリー・プログラムによる出願者のうち 該当者は□に☑を入れ、下記の「語学力」欄に 記入のうえ、語学力に関する証明書を提出する こと。		☐ (イ) (1) 論文試験			
			筆記試験科目名(外国語)			
			☐ (ダブル・ディグリー・プログラムに基づく出願者のみ) (注2)			
			☐ (イ) (2) 学科試験			
			☐ A 筆記試験 (専門科目2科目の場合)			
専門研究分野名						
専門科目名						
専門科目名						
☐ B 筆記試験 (専門科目1科目と外国語科目1科目の場合)						
専門研究分野名						
専門科目名						
外国語科目名						
語学力 (語学力を証明する試験等のスコアがあれば記入し、 証明する書類を提出すること) ※留学生特別選抜による出願者は必須		(1)テストの種類・名称:				
		(2)テスト実施の日付:				
		(3)テストの成績(スコアや評価など):				
資格等 (入学者選抜に際し考慮してほしいと考える資格等 があれば記入し証明する書類を提出すること)		(1)資格等の名称:				
		(2)取得の日付:				
社会人欄 記入欄		現職				
		総在職年数				
留学生欄 記入欄		在留資格	☐ 留学・ ☐ その他	(具体的に)		
		経費区分	☐ 国費・ ☐ 私費・ ☐ その他	(具体的に)		
本学在学生記入欄		学籍番号				
修士論文・リサーチ ペーパーの題名						
入学後専攻希望科目						

【履 歴】

- ・学歴は高校卒業時から現在に至るまでの履歴を記載してください。

	在 学 期 間 (年 月 ~ 年 月)	事 項 (学校名、学部・研究科名、卒業(修了)・退学・在学中の別、取得学位)
学 歴		

	在 職 期 間 (年 月 ~ 年 月)	事 項 (会社名等[所属]、業種、在職・休退職の別)
職 歴		

願書記入上の注意

1. 入学後専攻する予定の科目(志望専攻科目)を次の中から1科目選択し、入学願書の入学後専攻希望科目の欄に記入してください。

憲法、行政法、環境法、税法、刑法、刑事訴訟法、民法、商法、労働法、社会保障法、民事訴訟法、裁判法、国際法、国際私法、経済法、知的財産法、法理学、法社会学、西洋法制史、ローマ法、中国法、政治学、政治過程論、西洋政治思想史、日本政治史、国際政治学、比較政治学、行政学、法情報学

2. 職歴については、内部異動の記載は不要です。

※願書の表面で「職歴あり」を選択した者は、次の該当する項目をチェックしてください。

- ・現時点（出願時）における在職状況・・・・・・・・・・・・・・☐退 職
☐在 職（☐就業中・☐休職中）
- ・入学時の予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・☐退職予定
☐在職のまま就学
（職場での扱い ☐就業・☐休職）